

令和2年9月11日

保護者 様

北方町立北方中学校
校長 宮部 寿

生徒の交通事故の防止について（お願い）

保護者の皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、昨日の下校後（夕方）、生徒が関わる交通事故が発生しました。事故後、一緒にいた仲間たちによる迅速な対処により、素早く救急搬送されたおかげで、命に係わる状況を防ぐことができました。

本校では夏休み以降、生徒が関わる交通事故が4件となり、そのうち2件は自転車乗用中の事故、他の2件は保護者の車に乗用中の事故です。それらの中には命の危険を感じるケースもありました。

そこで、本校では昼の放送にて、昨日の事故の状況と再発防止の注意喚起をするとともに、帰りの会には各学級にて、再度、交通安全指導を徹底しました。また、今後交通安全啓発DVDを視聴するなどして、生徒の命の安全は自分で守るための取り組みに重点を置いて取り組んでいく予定です。

つきましては、子どもの命を守るために、下記の点について、各家庭でもご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

記

【中学生の交通事故の全国的な特徴】

- ・中学生の交通事故で一番多いのは、自転車乗用中の事故。
- ・自転車乗用中の事故の中で多いのは、自転車による出会い頭事故。
※これは、交差点等で一時停止をしなかったことが原因の場合が多い。
※全体の約60%を占める。
※ヘルメットを着用していなかったことが、大けがにつながる場合が多い。
- ・次に多いのは、自転車乗用中の右左折時における事故。
- ・学年別にみると、1年生→2年生→3年生の順で多い。
- ・自動車乗用中の事故は全国的には計上されていないが、県内でみると多い。
※自動車乗用中の事故の特徴は、シートベルトを付けていなかったことが、大けがにつながっている場合が多い。
- ・歩行中の事故で多いのは、左右未確認による飛び出しである。

岐阜県では「ドライバーとアイコンタクトができる岐阜の子」をめざし、取り組んでいるため、本校でもそれを大切に指導していきます。

また、9月21日（月）から9月30日（水）までは、秋の全国交通安全運動もはじまります。本校でも交通安全について指導していきますが、各家庭でもご配慮の程、よろしくお願いいたします。